ともに　チャレンジ！　～　美しい「あ・や・が・わ」の創造　～
あらたな文化　やすらぐ校風　がんばる心　わの精神
令和５年度 綾川中学校学校便り No.２　2023年４月11日

新入生170名を迎え、統合２年目の綾川中学校の教育活動がスタートしました！

４月７日(金)、令和５年度綾川町立綾川中学校の入学式を挙行しました。天気はあいにくの雨模様でしたが、「雨が降ると幸せが降り込む」という言葉があります。これは、降った雨によって周囲が浄化され、幸せが降ってくるという意味だそうです。また、「止まない雨はない」という言葉があるように、雨が上がった後は、必ず晴れた空が広がります。まさにこの言葉通り、新入生がすべての予定を終えて帰る頃には雨もすっかりと上がり、外で入学記念の写真撮影を楽しむ風景が随所で見られました。

ここで、入学式で体感した１年生の所作等のすばらしさについて紹介します。

○　学級担任の呼名に対して、歯切れよく元気に、そして自分らしく「はい」と返事ができたこと。
○　「ご入学おめでとうございます」というお祝いの言葉に対して、深々と、そして１年生全員が揃った会釈ができていたこと
○　式の最中、姿勢よく終始話に耳を傾け、きちんと話が聞けていたこと

【新入生入場】

【在校生代表歓迎の言葉】

この日は、13時に教室に入室し、その後、学級担任や学年主任から入学式での所作等についての説明があったのですが、入学式本番が始まるまで短時間であったため、果たしてきちんとできるかどうかと一抹の不安がありました。しかし、１年生は見事な態度で入学式に臨むことができました。

入学式の前日の４月６日(木)には、２・３年生を対象に令和５年度１学期始業式を行いました。そこでの上級生の態度も以下のように実に見事で、さすが上級生と思えるものでした。

○　式中の挨拶、話す人を見て聞く姿、無言で体育館に入場する規律の感じられる集団行動等、綾川中学校の統合元年に培った「挨拶文化」「聞く文化」「静と動の区別」等が令和５年度、綾川中学校の統合２年目に継承されていた。

【始業式での話を聞く姿勢】

さて、上記のような始業式、入学式等は、「儀式的行事」と呼ばれ、文部科学省学習指導要領にも位置付けられています。そのねらいや育成する資質・能力は次のとおりです。

【儀式的行事のねらい】
生徒の学校生活に一つの転機を与え、生徒が相互に祝い合い励まし合って喜びを共にし、決意も新たに新しい生活への希望や意欲をもてるような動機付けを行い、学校、社会、国家等への所属感を深めるとともに、厳かな機会を通して集団の場における規律、気品のある態度を育てる。

【儀式的行事において育成する資質・能力】
○　儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品のある行動の仕方などを身に付けるようにする。
○　学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとることができるようにする。
○　厳粛で清新な気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげるようとする態度を養う。

始業式での２・３年生、入学式での１年生の姿は、学習指導要領に謳われている精神を具現化したものでした。
すばらしい令和５年度のスタートを切った全校生徒548名。今週から本格的に始まる授業をはじめとする様々な教育活動を通して、大きく成長することを期待しています。